

エコアクション 21

環境活動レポート

(平成 30 年度)

運用期間：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月



令和元年 6 月 15 日

有限会社 豊原商会

目次

1. 環境方針	2
2. 組織の概要	3~6
3. 環境目標及びその実績	7
4. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
5. 環境関連法規等の評価結果及び違反、訴訟等の有無	9
6. 全体の評価と見直しの結果	9

1.環境方針

基本理念

有限会社豊原商会は、自然とのよりよい共存のために地域環境の改善を目指し、主業務である産業廃棄物処理事業の活動を通じて地域環境の保全に積極的に取り組みます。

そのために社員一同が常に環境問題に対して積極的に行動し、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

行動指針

環境経営システムを構築・運用し、定期的に見直すことによって、環境保全活動の継続的な改善を図ります。

1. 廃棄物の分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
2. 二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
3. 節水に取り組み、水使用量の削減に努めます。
4. 環境にやさしい商品などの購入に努めます。
5. 環境方針を全従業員に周知徹底します。
6. 環境関連法規等を遵守し、事業活動を推進します。
7. 地域活動に積極的に取り組みます。

平成 30 年 6 月 1 日 制定
有限会社 豊原商会
代表取締役 豊原幸男

2.組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社 豊原商会

代表取締役 豊原 幸男

創業 昭和56年10月1日

(2) 所在地

本社 山口県下関市豊田町大字矢田 471 番地

事務所兼作業場 山口県下関市豊田町大字矢田 470 番地 1 号

作業場 山口県下関市豊田町大字矢田 474 番地 1 号

菊川支店 山口県下関市菊川町大字下岡枝茶屋川 884 番地 3 号

(3) 環境管理責任者及び担当者氏名

環境管理責任者 豊原 幸男

環境管理担当者 豊原 千恵

(4) 連絡先

TEL 083-766-1862 FAX 083-766-0312

E-mail buti@oregano.ocn.ne.jp

(5) 事業の内容

1. 産業廃棄物の収集・運搬
2. 特別管理産業廃棄物の収集・運搬
3. 一般廃棄物の収集・運搬
4. 貨物自動車運送業
5. 自転車部分品の加工

(6) 事業の規模 (2018 年度)

資本金 : 1000 万円

売上高 : 181 百万円

従業員数 : 14 人

建屋床面積 : 358.06 m²

廃棄物取扱量 : 1939.676 t /年 (2018 年度実績)

(7) 当社の事業年度

4 月～3 月

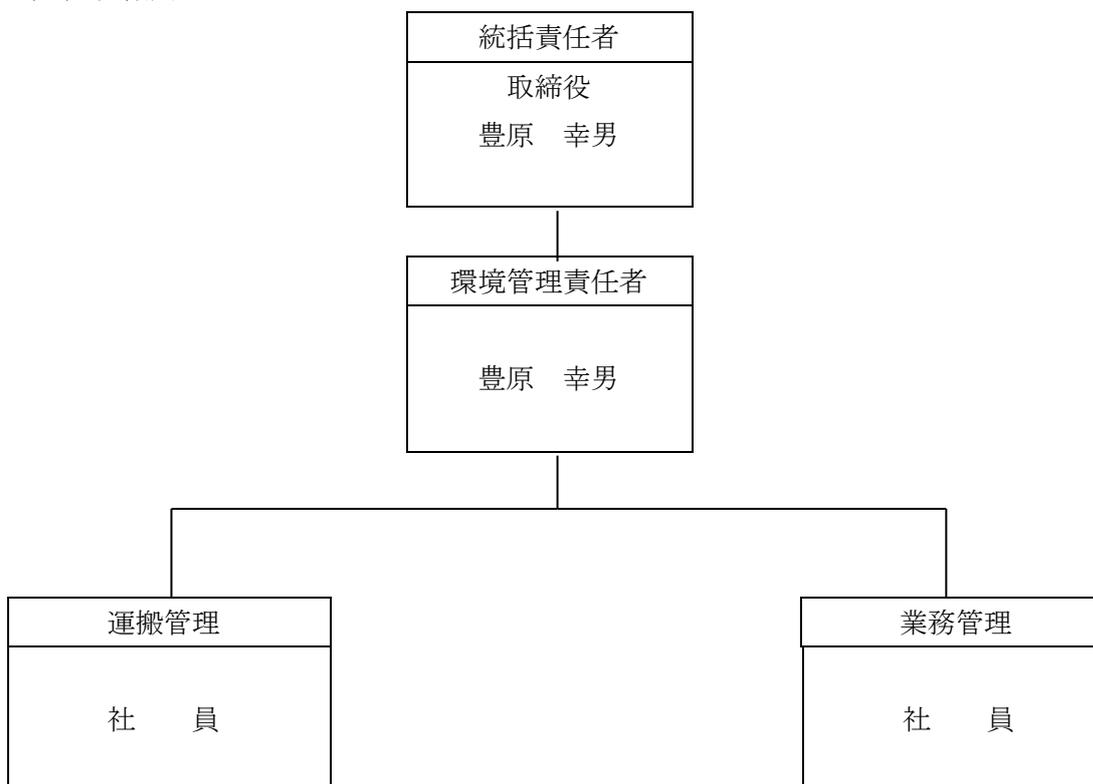
(8) 認証・登録範囲

対象事業者名 : 有限会社 豊原商会

対象事業所 : 全事業所

対象活動 : 全活動

(9) 組織図



氏名	所属・役職	役割・責任・権限・使命
豊原 幸男	代表取締役	全体の総括、環境方針の策定、環境への取り組みの実施、全体の評価と見直し。
豊原 千恵	事務局	社全体の把握、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長に報告する。
豊原 千恵	総務局	電力・水・車燃料・灯油消費量の管理。
豊原 幸男	代表取締役	廃棄物の廃棄量管理。

(10) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可証

山口県 : 第 03500028781 号
許可期間 平成 27 年 2 月 23 日～平成 32 年 2 月 22 日
下関市 : 第 07510028781 号 (積替え又は保管を含む。)
許可期間 平成 27 年 9 月 1 日～平成 32 年 8 月 31 日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

山口県 : 第 03550028781 号
許可期間 平成 27 年 10 月 2 日～平成 32 年 10 月 1 日

一般廃棄物収集運搬許可証

下関市 : 第 11045 号
許可期間 令和元年 6 月 1 日～令和 3 年 5 月 31 日

廃棄物取扱種類

一般廃棄物 : 可燃物・不燃物・資源物
産業廃棄物 : 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず (がれき類を除く。)、陶磁器くず (自動車等破砕物を除く。以上 3 種類)、汚泥、廃油、廃アルカリ、木くず、ゴムくず、がれき類 (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上 9 種類
水銀使用製品 (ガラスくず、金属くず、廃プラスチック) (特別産業廃棄物であるものを除く。)
特別管理産業廃棄物 : 廃油 (揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃酸 (水素イオン濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃アルカリ (水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃石綿等 以上 4 種類

保管場所の内容

面積 : 328.65 m²
保管上限 : 405.84 m³
最大高さ : 2.55m
種類 : 廃油、廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず等、がれき類、水銀使用製品 (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上 7 種類

一般貨物自動車運送許可証 : 中国自貨第 428 号

(1 1) 設備の内容

車両 : 塵芥車両 6 台 キャブオーバー車両 5 台
小型トラック車両 3 台 脱着装置付コンテナ車両 1 台
フォークリフト 4 台

(1 2) 処理実績 (収集運搬のみ)

単位 : t

年度	一般廃棄物	産業廃棄物
28	2015.2	29.5
29	1971.7	18.5
30	1900.7	38.976

3.環境目標及びその実績

管理責任者	担当者
	
令和1年6月28日	令和1年6月28日

環境目標	単位	平成29年度	平成30年度			平成31年度	平成32年度		
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(達成判定)	目標	目標		
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	147,850	現状維持	143,008	○	現状維持	現状維持	
	a 電力使用量の削減	kWh	36,627	現状維持	32,157	○	現状維持	現状維持	
	b 灯油使用量の削減	ℓ	1,484	446以下 70%	397	○	現状維持	現状維持	
	c ガソリン使用量の削減	ℓ	535	現状維持	824	×	現状維持	現状維持	
	d 軽油使用量の削減	ℓ	44,598	現状維持	44,724	×	現状維持	現状維持	
	e LPG使用量の削減	kg	76.3	現状維持	75.2	○	現状維持	現状維持	
2	総排水量の削減	m ³	829	現状維持	826	○	現状維持	現状維持	
3	廃棄物排出量(自社分)の削減	t	2.1	現状維持	2	○	現状維持	現状維持	
4	分別作業での適正分別の推進		適正	適正	適正	○	適正	適正	
5	廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮		行動目標						
6	グリーン購入の推進	代替品目数	3	適宜	適宜	○	適宜	適宜	
7	環境コミュニケーション		行動目標						

備考：二酸化炭素の排出係数はH27年度の中国電力0.700kg-CO₂/kWhを用いた。

4.環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

管理責任者	担当者
 豊原 令和1年6月10日	 豊原 令和1年6月10日

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
1.二酸化炭素総排出量の削減			
電力使用量の削減	1 エアコンの温度設定、夏28℃・冬20℃	△	・エアコンの温度設定ができていない。 部屋の無人の時のエアコンのつけっぱなしが目立った。次年度は徹底したい。
	2 消灯の徹底	△	
	3 クールビズ、ウォームビズ	○	
	4 長時間席を離れる時のパソコン電源off	△	
灯油使用量の削減	1 暖房温度の適正管理	○	
ガソリン使用量の削減	1 エコドライブ	○	・市から委託の自治会等清掃ゴミの回収が多かったため、ガソリン車の使用が増えた。 ・大型車両運転手を新たに2人増やしたが、まだ運転に不慣れな為、エコドライブ・アイドリングストップができなかった。 ・キャブオーバーを1台買い替えた。今後も検討していく。
	2 アイドリングストップ	○	
	3 排ガス規制の車両を中・長期で買い替える	-	
軽油使用量の削減	1 エコドライブ	△	・キャブオーバーを1台買い替えた。今後も検討していく。
	2 アイドリングストップ	△	
	3 排ガス規制の車両を中・長期で買い替える	○	
LPG使用量の削減	1 給湯器等の効率使用	○	

2.総排水量の削減

節水活動	1 水を出しっぱなしにしない	○	目標値達成。次年度も継続。
	2 節水コマ導入	○	

3.廃棄物排出量の削減

リサイクルの推進	1 コピー用紙の両面使用	○	・次年度も継続。
	2 縮小してコピーし、コピー用紙の枚数を減らす	○	
	3 廃棄物の分別とリサイクル	○	
省資源	1 文書の電子化への取組	○	・DocuWorksやペーパーレスFAX受信を導入。

4.分別作業での適正分別の推進

適正分別の推進	1 排出事業者責任の徹底	○	・次年度も継続。 ・事前に電話にて分別してもらえるよう依頼。
	2 排出事業者自らのゴミの減量・リサイクルの取組	○	

5.廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮

社用車の切り替え	ハイブリット車や低燃費車、低排出ガス認定車等の切替を考慮	○	・キャブオーバーを1台買い替え。今後も検討。
車両使用の配慮	1 エコドライブ	○	・ドライブレコーダーの設置。次年度も継続。
	2 日常・定期点検の実施	○	
収集運搬の配慮	1 積み忘れをしない	○	・収集した数を記録するなど、積み忘れ防止に努めた。今後も継続。 ・ルール違反ゴミについては、報告書作成。
	2 走行距離の短縮化	○	
	3 汚した場合の清掃徹底	○	

6.グリーン購入

グリーン購入	1 トイレトペーパーを再生紙に切り替え	○	次年度も継続。
	2 事務用品を再生紙に切り替え	○	

7.環境コミュニケーション

(外部)			
環境コミュニケーション	HPを活用し、事業活動等を随時公表する	○	・HPを作成した。今後も最新の情報を公表していく。
地域奉仕活動等の参加	地域奉仕活動等に積極的に参加する	○	・次年度も継続。
美化活動	会社周辺の清掃徹底、車両の洗車徹底	○	・次年度も継続。
(内部)			
周知の徹底	随時、指導教育訓練記録を作成し、掲示する。	○	・指導内容を記録し、従業員に記名させることで周知の徹底をした。今後も継続。
従業員のレベルアップ	講習の積極的な参加、資格取得など	○	・次年度も継続。

5.環境関連法規等の評価結果及び違反、訴訟等の有無

- ・自己チェックの結果、違反はありませんでした。
- ・関係当局からの違反の指摘及び訴訟は過去5年間ありませんでした。

6.全体の評価と見直しの結果

いくつかの項目が目標値を達成できず、社員一人一人がエコアクション21の取り組みを再確認し、日々の業務の中で意識して行い、目標達成ができるよう朝礼等で話し合いました。

電力使用量については、夏場のエアコン温度設定が守れていないことが多く、夏冬ともに無人の部屋でのつけっぱなしが目立ちました。ブラインド等を使い温度設定を遵守すること、最後の退出者はスイッチoffを徹底するよう指導しました。

ガソリン使用量については、目標値は設定しているものの、市より収集依頼があればその依頼数に応じてガソリン車を使用しなければならないのでなかなか難しい所ですが、なるべく収集日をまとめる等してガソリン使用量を削減しようと思います。

軽油使用量については、新規に収集先が増えたこと、また、新免による大型車両運転手のエコドライブ・アイドリングストップが十分でなかったことが考えられます。今後も指導していきます。

灯油使用量については、事業活動に伴う使用量を把握し、目標値を見直しました。

環境コミュニケーションにおいて、我が社は委託業者なので常に外部に見られていることを意識し、信頼を失わないよう、会社周辺の清掃・収集車の洗車・ゴミステーションの美化などを徹底しました。

また、内部では、従業員のレベルアップのため、積極的に講習や資格取得を行いました。